

深中だより

美礼時

深谷市立深谷中学校

平成25年9月1日 第6号

生徒や保護者、地域社会との信頼関係を築き上げるために

第1回資源回収では、大変お世話になりました。

猛暑日でしたが、地域や業者の方々からは、先生方の指導が入っており、生徒の動きがとても良いとの評価をいただきました。大きな挨拶を交わしながら、集合時刻の5分前には、ほぼ全員が集まり、各部活動の場所に置かれていた荷物も整理整頓されていました。本校に、また一つ「美・礼・時」が増えました。

環境整備委員をはじめとする保護者の皆様には、大変お世話になりました。今回から、公民館を經由し、地区の自治会長さんからの回覧板で「お知らせ」を閲覧する方法を取らせていただきました。連絡に不備が生じたことにお詫び申し上げます。

次回からも、今回と同様の連絡方法を取らせていただきますので、よろしくお願い致します。なお、収益金につきましては、生徒の安心安全を最優先に活用させていただきます。さっそく、消化器の転倒防止の材料費に充当させていただきました。



平成25年8月3日(土)、午前8時から本年度の第1回「資源回収」が実施されました。今回は13の部活動から総勢215名の生徒が参加をしました。早朝から35度を超える



第2回 - 11月9日(土)
第3回 - 2月1日(土)

新学期に向け、校長室内の額「学校教育目標」がリニューアルされました。

校長室にある「学校教育目標」の額が、余りにもシンプル過ぎるということ



で、美術部の生徒3名(飯島志央里さん、大澤茜さん、角谷真依さん)が現代風のアレンジを加え、リニューアルしてくれました。学校教育目標の実現に向け、改めて強い決意を確認することができました。

8月29日(金)から始まる2学期は、授業日が79日間あり、最も長く、教育活動の充実が図られる学期です。また、本校の三大イベントと呼ばれる「文化発表会」「体育祭」「校内音楽会」が開催されます。これらの三大イベントに対して、学年や学級、実行委員会、係活動を通じて、生徒たちの意欲(本気・やる気)を束ね、教職員の英知を結集させて、本校の教育目標 - 志高く「自ら学び続ける生徒」

「思いやりの心を培う生徒」「心身を鍛えやり抜く生徒」を実現させますので、今後とも御理解と御協力、御支援をよろしくお願い致します。

あたりまえのことをあたりまえに

昨年度から、なめらかな接続を図り、小中を一貫とした教育を推進するために、「深谷中・南中学校区のきまり」について、6校の校長が集まり、比較・検討を重ね、この度、啓発用のポスター「あたりまえのことをあたりまえに」を完成することができました。

新学期からは、このポスターを全教室に掲示し、各家庭でも掲示していただき、「あたりまえのことがあたりまえにできる」生徒の育成に取り組んで参りますので、今後とも、よろしくお願い致します。特に、各家庭では「挨拶」「靴そろえ」「朝食」「家庭学習」への御支援と御協力をお願い申し上げます。

これらの取組を充実させるためには、その前提として「相手の話をしっかり聞く」があります。本校の生徒は、集会時の「構え」を身に付けており、体育座りのまま、無言で相手の話を聞くことができます。残念ながら、最近、保護者の中で、相手の話を聞けずにおしゃべりを始める人をお見かけします。保護者の皆様にも「相手の話をしっかり聞く」ことを身に付けていただきますよう、御理解と御協力をお願い致します。



夏休み中でも、生徒会活動は充実しています。

環境美化委員会を中心に取り組んでいる「アルミ缶回収」の収益金の一部を市内の福祉施設(タンホ作業所・ホブラ・FOMAなみ・深緑苑・藤の木社)に寄付しました。

上記の施設等は、社会体験チャレンジでお世話になります。
寄付金:各施設に1万円



平成25年8月1日(木)の午後2時から「子ども議会(中学生の部)」が開会され、本校の代表として、後藤愛美さんと栗原壮吾くんが参加し、小島市長に対して質問を行いました。

【質問】後国際交流について
栗環境改善とボランティア活動について



県大会終わる……「正々堂々の戦い」

7月の中旬から下旬にかけて、学校総合体育大会の県大会が開催されました。どの選手も、どの部も自分とチームを信じ、誇りを持って正々堂々の戦いを展開し、各会場において「ここに深中あり」を披露してくれました。

特に、水泳競技に出場した「高松和希」(3年)くんは、400m自由形で5位に入賞し、関東大会出場を果たしました。関東中学校水泳競技大会でも自己記録を更新する力泳で、4分14秒43を叩き出し、6位入賞に輝きました。横浜国際プールの大型電光掲示板には、「フカヤチュウ」の文字が大きく映し出されました。入賞、誠におめでとうございました。そして、感動をありがとう。

他の競技による結果は、次の通りです。選手たちの頑張りに敬意を表します。

平成二十五年 関東中学校体育大会
第37回
関東中学校水泳競技大会
会場 横浜国際プール(オータリーナ)
会期 平成二十五年八月八日(木)～十日(土)



熊谷荒川ラグビー場



東松山公園運動公園



横浜国際プール

- 【結果】 8競技(団体の部・個人の部) 敬称は略します。
 ラグビー部 準決勝戦で熊谷東中に惜敗 3位入賞
 サッカー部 さいたま市立原山中に惜敗 2回戦敗退
 柔道部 団体戦 男子: 2回戦敗退 女子: 1回戦敗退
 個人戦(佐藤・田中・吉田・竹井) 1回戦敗退 (飯島・岸希・岸歩・湯浅) 2回戦敗退
 水泳競技 高松和希 400m自由形 - 5位、200m自由型 - 7位 関東大会出場へ
 小林美玖 200m背泳ぎ・100m背泳ぎ 予選敗退
 剣道部 個人戦(石川・神庭・高木) 1回戦敗退
 ソフトテニス部女子 個人戦 福山・柿澤組 4回戦敗退(決勝リーグ進出) ベスト16
 陸上競技 2年男子100m 青木一真 予選敗退 小林 純 予選敗退
 バドミントン男子 シングルの部 新妻哲太 1回戦敗退



この夏よりも暑い、「最高の言葉」

平成25年7月27日(土)の午前10時から、仙元山陸上競技場で「高円宮杯サッカー北部地区大会」の準々決勝戦が開催されました。苦しい場面も数多くありましたが、個人技とチーム力で流れを呼び込み、児玉中学校に対して、4対2で勝利することができました。

レギュラー陣がベンチに戻ると、試合に出場できずベンチで声援を送っていたチームメイトのある選手が、勝利したことを誉め讃えると共に、感謝の意を込めて、こんな言葉をレギュラー陣にかけていました。

「俺、止めなくてよかったよ。皆、勝ってくれて、本当にありがとう！」

レギュラー陣とベンチ陣が心を一つにして、勝利に一蓮托走している姿をスタンドから見る事ができました。



仙元山公園陸上競技場

2013
 ハンサムな生き方とは？
九月の格言
 運命は素直に受け入れなさい。
 それが「生きる」ということです。
 新島八重は、厳しい逆境の中
 でも運命を受け入れ、ハンサム
 ウーマンと呼ばれていました。
 ハンサムな生き方とは、時代
 に適応せず、自分の信念を貫く
 生き方のことです。

【9月の行事予定】 授業日数:20日 第2学期(8/29~)

日	曜	主な学校行事
4	水	深谷市実力テスト(3年) 学校保健委員会13:30
7	土	文化発表会(午前中)
11	水	登校指導日 アルミ缶回収
13	金	大寄地区敬老会(吹奏楽部出場:深谷市民文化会館16:10~)
19	木	第35回体育祭 予備日は20日と25日
24	火	市教委、人事・学事担当訪問
26	木	新人戦陸上競技地区予選会
27	金	生徒朝会
		体育祭選手決め(8/30) 体育祭練習開始(9/5~)